

教科書は  
こう変わります!

平成28年度版 中学校国語教科書

# 『現代の国語』の特色

21世紀型の学習プログラム

## 1 「学び方」を学び、活用する

課題を解決する方法や思考のポイントを、図解やモデルによって、わかりやすく提示しました。新たな学習へ取り組むとき、習得した学び方が活用できるように促し、主体的に学ぶ力として定着するようにしています。

## 2 「見通し」と「振り返り」を明確化

教材の冒頭には「つきたい力」を明確にした学習目標を提示し、教材末には学習を振り返る機会を設定しています。確かな目的と見通しをもってスタートし、一貫した課題意識によって学習を進め、身についた力を振り返り、次に生かすプロセスを重視しました。

## 3 協働で学ぶ

個の確かな学びを保障しつつ、異なる考えをもつ他者と協働して課題を解決したり、合意を形成したりする学習活動を設定し、多様な価値観の中で、ともに生き、よりよい社会を創り上げるための基礎を、楽しく体験的に学べるようにしています。

## 4 実践力を身につける

学校生活、日常生活につながる課題を積極的に取りあげ、実生活で生きて働く実践的なことばの力を育成します。学習の文脈に即した多様な言語活動をとおして、社会で求められる知識や技能、ものの見方や考え方を育みます。

## 5 小・中の連携をデザイン

第1学年の冒頭では、小学校で学んだことを想起しつつ、円滑に中学校の学習を始められるよう、難易度の設定や学習のデザインに配慮しています。その後、中学校ならではの学習へと無理なく引き上げ、成長の実感を味わえるように工夫しています。

1年  
「空」



2年  
「山」



3年  
「海」



未来をひらく  
ことばの学びの旅へ

各学年の表紙は、武政諒さんのイラストレーションにより、中学校の3年間にわたる「ことばの学び」を、仲間とともにすすめる冒険の旅にたとえて表現しています。

今回の「ことばの学び」では**1**『学び方』を学び、活用する』を特集します。